

ふかうら101オープン 深浦町の若手農家で経営する飲食店「ふかうら101」が月屋地区にこのほどオープンしました。

メイン料理のそばやカレーライスには、町内で作られた野菜や米が使用されています。

また、土日には野菜や米の直売も行っています。地元農家が自分たちの作った野菜で何かできないかと始めたのがきっかけで、フードメニューも今後増やしていきたいと抱負を述べていました。

地元の野菜を使ったメニューを味わってみませんか？

ふかうら101 平日11時～14時（月・火曜定休日） 土日11時～15時



スペシャルそばとミニカレー丼



野菜直売コーナー

在宅医療について考える フィットネスプラザ「ゆとり」において在宅医療をテーマにした「ピア まちをつなぐもの」の無料上映会が行われ、78人が参加しました。上映に先立ち、無料の健康測定コーナーが設けられ、参加者は自身の血管年齢測定や野菜摂取量チェックを体験していました。

映画は、悩みながらも懸命に高齢化社会の大きな課題である在宅医療に取り組む若手医師の姿を描いた内容。鑑賞後には、深浦診療所の吉岡所長が講話を行い、在宅医療について真剣に考える一日となりました。



健康測定を行う参加者



映画鑑賞し、在宅医療・介護について考える

松原地区神楽 松原地区の神楽が見入山観音駐車場において行われ、地域住民14名が参加しました。田中自治会長は「昨年まで本堂で実施していたが、道のりが急で上り下りが厳しくなった。今年から下の駐車場で行うので、ゆかりのある方は来年からでもぜひ来てほしい」と語りました。

見入山観音堂は町指定記念物名勝となっており、断崖の洞穴にはめこむように建てられた荘厳な堂宇に如意輪観世音が安置されています。

津軽三十三霊場の九番札所にもなっています。ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。



見入山観音堂



神楽御祈禱をうける様子

みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。
深浦町総合戦略課 企画調整係
電話 74-2122

まちかど

ウォッチング

北金ヶ沢漁業振興会が優良賞受賞

第67回青森県青年・女性漁業者交流大会が8月28日、青森市総合教育センターで開催されました。本大会は、日頃の漁業活動や地域での取組を発表・共有し、沿岸漁業の振興や漁村生活の改善につなげることを目的としています。

県内各地の代表者が集う中、西北地域からは新深浦町漁業協同組合北金ヶ沢漁業振興会の桜庭林都さんが登壇。「荒波漁師によるワカメ養殖の今後の展開―安定的な漁業経営の実現に向けて―」と題して発表を行いました。

深浦の海の特性を生かした取組や将来の展望についての堂々とした発表が高く評価され見事、優良賞を受賞されました。

地元の海と向き合い、先人の知恵と経験を受け継ぎながら挑戦を続ける北金ヶ沢漁業振興会の今後の活躍が期待されます。



賞状を手に記念写真に納まる桜庭さん(前列右から1人目)

海辺の朗読&音楽会2026開催

リハジムらしかる2階で「海辺の朗読&音楽会2026」が開催され、チェロや笛の音色に合わせた朗読に参加者は耳を傾けました。

5回目の開催となる今回は、太宰治の「朝」や「葉桜と魔笛」といった短編小説の朗読やチェロの演奏、笛によるネプタ離子の演奏が披露され、参加者は目の前に広がる海を眺めながら朗読と演奏に聴き入っていました。

代表の山本千鶴子さんは「サポートしてくれる人たちに助けられ今年も開催できた。町内外からたくさん来ていただき感謝している」と述べられました。



朗読する山本千鶴子さん(写真右)

東京大学の学生が深浦町で農業・農村体験をしました！

8月24日から9月1日までの9日間、東京大学の体験活動プログラム「どっぷりディープな農業・農村体験（DDNN）」に参加するため、学生4名が深浦町を訪問しました。

滞在中、学生たちは舳作興農組合で大根の収穫・洗浄作業などの農業体験に汗を流しました。また、白神岳登山や青池の散策で本町の豊かな自然を満喫したほか、町長との意見交換会では地域の課題や今後のまちづくりについて活発に意見を交わしました。

参加した学生からは「深浦の魅力や農業のポテンシャルを実感した」などの感想が寄せられ、都市と地域を結ぶ関係人口創出の貴重な一歩となりました。



平沢町長と懇談する東京大学の学生4名(写真左から2人目から)